

決算特別委員会

9月8日の本会議で設置された決算特別委員会に「令和4年度太田市一般会計歳入歳出決算認定について」など7件の議案が付託され、9月20日から22日の3日間にわたり慎重に審査を行いました。

各委員の審査後、総括質疑と討論が行われ、採決の結果、それぞれ認定すべきものと決定しました。

委員会審査での主な質疑、要望、意見を委員長報告から抜粋してお知らせします。

決算特別委員

(R5.9.8選任)

◎渡辺 謙一郎	木村 浩明
○青木 雅浩	長 正祐
山水 めぐみ	高木 きよし
前田 純也	星野 一広
神谷 大輔	久保田 俊
八長 孝之	大川 陽一

◎委員長 ○副委員長

一般会計

歳入

問 ふるさと納税が減少した要因と今後の取り組みについて伺います。

答 高額な寄付につながる返礼品であったマッサージチェアが製造中止になったこと、サッポロビールが返礼品として取り扱い中止となったことが主な要因として考えられます。今後は庁内でさらなる連携を図るとともに、補助金の活用などさまざまな手法を調査研究し、返礼品を拡充することで寄付金の増加に努めていきたいと考えます。

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用実績および今後の見通しについて伺います。

答 子育て世帯ベーシックサービス給付事業や学校給食費無料化事業、原油価格・物価高騰事業者支援事業などに活用しました。引き続き物価高騰などの対策が必要であることから、制度を継続するよう国へ要望していきます。

教育費に係る歳入

問 学校給食費の滞納者への対応について伺います。

答 昨年度は、弁護士への委託による10件の催告と1件の強制執行を実施しました。今後も収納課への税情報の照会により生活実態を適正に把握し、個別徴収を強化するなど、引き続き滞納額の縮減に努めていきたいと考えます。

歳出

●総務費

問 おうかがい市バスの運用状況について伺います。

答 予約受付体制の見直しにより電話回線の混雑解消を図ったほか、車両の増車に向けて委託先との協議を進めています。さらなる利便性向上のため、民業圧迫につながらないよう協議を重ねた上で、登録要件の緩和を目指していきたいと考えます。

問 業務量の増加を勘案した適正な人員配置について伺います。

答 各所属からの要望などをもとに配置状況を検証し、年度ごとに重点配置を決定することで適正な人事管理を進めています。今後は職員定数を定期的に見直し、定年の段階的引き上げや新規採用を考慮しながら人員増について検討するとともに、職員満足度調査の実施などにより職員がモチベーションを上げて働けるような職場環境づくりに努めていきたいと考えます。

●民生費

問 全国的に後継者難が見受けられる保護司の確保に向けた取り組みについて伺います。

答 保護司はボランティアとして非行や犯罪を行った人たちの更生を支えるほか、地域の犯罪予防に関する相談に応じるなど、更生保護行政における重要な役割を担っていると認識しています。その活動内容が地域社会の中で認知され、保護司にとっての励みとなるような環境づくりについて、行政として最大限のバックアップをしていきたいと考えます。

問 虐待をはじめとする要保護児童への対応について伺います。

答 ケースに応じ利用可能なサービスや有効な相談先を案内するほか、対応困難な事例や継続支援が必要なリスクの高い事例については、要保護児童対策地域協議会において必要な支援について協議を行っています。相談件数の増加や事例の複雑化に対応するため、協議会の充実に加え、窓口となる子育てそだん課の機能強化を図っていきたいと考えます。

●衛生費

問 ごみの減量に向けた取り組みについて伺います。

答 市広報、ホームページやラジオCMなどによる啓発活動に加え、生ごみ処理槽設置助成金、資源回収の報奨金などの取り組みを通じ、ごみの減量、分別に対する市民の理解、協力も広がり年々ごみの搬入量は減少しています。今後さらなるごみの減量化に向け、太田市外三町広域清掃組合との連携による広域的な普及・啓発を進めていきたいと考えます。

問 自殺問題の対策として、重要な役割を果たすゲートキーパーの養成について伺います。

答 自殺の危険を示すサインに気付き、適切な対応を図ることのできるゲートキーパーの必要性を認識しており、健康推進員を対象に毎年養成研修を実施しています。自殺の防止に向けて、地域社会におけるさまざまな危険信号を察知し、行政として対処していくための方策を追求していきたいと考えます。

●労働費

問 今後の就労、起業支援の在り方について伺います。

答 就職氷河期世代の働き方の選択肢を広げるため、不足するITプログラミング人材の育成を図る事業などを行いました。今後は、ICTの専門スキルを習得する以外にも、より多角的な視点から氷河期世代の就労につながる支援について研究していきたいと考えます。

また、女性の起業支援として、おたなでしこ未来塾を実施しており、この事業を経て31人が起業しています。卒業生を中心に設立された一般社団法人でしこ未来塾と連携しながら、引き続き、女性の多様な働き方を支援していきたいと考えます。

●農林水産業費

問 有害鳥獣対策の具体的な取り組みと、今後の方針について伺います。

答 下草刈りによる生息環境管理、柵の設置による被害防除対策、駆除により実数を減らす個体数管理、この三つの対策を地域の実情に応じて組み合わせ、総合的に実施しています。また、今後の方針として、有害鳥獣対策アドバイザーによる被害対策説明会や捕獲技術講習会などの実施を通じて、地域の担い手を育成し、地域ぐるみで被害防除対策にあたる機運を高めていきたいと思います。

問 現在行っている土地改良事業の進捗状況および今後の課題について伺います。

答 圃場整備事業として緑町地区、尾島東部地区、排水対策事業として、大久保地区、藪塚西部地区の計4地区で事業に着手しています。尾島東部地区については、現在仮同意の段階ですが、同意率の向上に向けて群馬県や土地改良推進委員と連携し、地権者全員の協力を得ていくことが今後の課題であると考えます。

●商工費

問 頻発する高齢者の詐欺被害などに対する啓発活動について伺います。

答 被害防止対策として消費生活講座の開催や地域の高齢者学級への出前講座をはじめ、FM放送などによる啓発活動を行っています。また、今年度からは、消費生活センターだよりを3カ月ごとに発行し、消費者被害の事例とともに、その対策方法を掲載するなど、注意喚起を行っています。今後は、お祭りなどさまざまなイベント会場において、詐欺被害防止のための啓発活動を積極的に進めていきたいと思います。

問 デジタルものづくり高度産業人材育成事業について伺います。

答 日本ミシュランタイヤ(株)本社内にある積層造形技術や3Dプリンターに関する教育施設において、小学生を対象にしたものづくり体験ツアーを実施しています。本事業は、デジタルものづくりに対応した高度な人材育成を目的とした事業であり、将来を担う子どもたちにとって有効な事業であることから、継続して実施していきたいと考えます。

●土木費

問 太田駅南口の再整備について伺います。

答 南一番街や太田中央公園を含む太田駅の南口について、市街地再開発事業を機に多くの人が集い、にぎわいを創出できるよう歩道や公園を再整備する計画を検討しています。太田市の玄関口として、目指す姿を共有し、まちづくりを進めていきたいと考えます。

問 スケートパーク整備事業について伺います。

答 令和6年6月のオープンを予定しています。パリオリンピックが令和6年7月に開催されることから競技の注目度が上がり、スポーツによる持続可能なまちづくりを掲げる本市にとって、新たな拠点になることが期待されると考えます。

●消防費

問 消防職員の出動件数などを踏まえた組織体制の充実強化について伺います。

答 近年の出動件数の傾向を見ると、火災・救助はおおむね横ばいですが、救急は過去最高を更新しています。今後、さらに増加が見込まれる災害へ備えるとともに、近年の消防団員の減少や消防職員の定年延長制導入を踏まえ、消防力の低下を招かないよう適正な人員配置の在り方について、増員を含め検討していきたいと思います。

問 救助における重要備品の購入状況および想定される災害への備えについて伺います。

答 本市の南北に存在する河川に近いそれぞれの消防署および分署へ7艇の水難救助用ボートを配置しています。令和元年東日本台風における課題を踏まえ、水上オートバイを購入するなど、水害への即時対応能力を発揮できる体制を構築していることから、既存の資機材でおおむね対応が可能と考えます。